

学習センター

# 利用の手引



2024年度

 **放送大学**  
佐賀学習センター



## 放送大学学歌

那珂太郎作詞

(一)  
あまたの星々のなかの この地球にあつて  
われらはまなぶ 世界を 自分を  
われら どこから来て どこにゐるのか  
生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ  
知は光 みどりの未来を展<sup>ひら</sup>くため  
いつでも どこでも  
見えない友と 共に生き 共にまなぶ  
開かれた大学 放送大学

(二)  
はるかな永劫のなかの この時代にあつて  
われらは知らう 社会を 自然を  
われら どこから来て どこへ行くのか  
生きるとは知ること 知ることとはよこび  
知は力 よりよい生を拓<sup>ひら</sup>くため  
朝<sup>あさ</sup>に 夕<sup>ゆふ</sup>に  
親しい友と 語り合ひ 友にまなぶ  
開かれた大学 放送大学

### 表紙：写真提供 佐賀県立名護屋城博物館

#### 【名護屋城天主台跡：佐賀県立名護屋城博物館】

##### 概要

中国・朝鮮半島侵略をもくろんだ豊臣秀吉は、この地に名護屋城を築いて出兵基地とし、文禄・慶長の役（壬辰・丁酉倭乱1592～98）を起こしました。これは、日本列島と朝鮮半島との長い交流を一時断絶させた不幸な出来事でした。現在、この戦争の舞台となった名護屋城跡と、参集した全国の大名の陣跡は「名護屋城跡並陣跡」として国の特別史跡に指定されています。名護屋城博物館は、この広大な遺跡の保存整備事業の中核施設となるとともに、過去の史実に対する反省の上に立って、日本列島と朝鮮半島との交流の歴史を調査・研究・展示紹介し、今後の友好・交流の推進拠点となることを目指しています。

当博物館では、(1) 特別史跡「名護屋城跡並陣跡」の調査・保存・活用、(2) 城郭と「日本列島と朝鮮半島との交流史」に関する資料の収集・保管・調査・研究・展示・普及、(3) 交流史研究を主体とする国際学術・文化交流事業を中心的な活動の内容としています。

※2024年度第2学期面接授業「軍事都市「肥前名護屋」を探る」が10月26日（土）～27日（日）の2日間、佐賀大学全学教育機構宮武正登教授を講師に迎え、佐賀県波戸岬少年自然の家を会場に開催されます。

「文禄・慶長の役」の際の本営として豊臣秀吉が整備した肥前名護屋は、史上最大の軍事基地であり、莫大な兵站物資の集積地として都市的繁栄を遂げ、一時期は国政の中枢をも兼ねた。この授業では実際にその現地（唐津市鎮西町）に赴き、歴史の舞台に立って往時の遺構を目の前にしながら朝鮮出兵の実態を探っていきます。



# 目 次

はじめに	2
放送大学及び佐賀学習センターの沿革	3
開所日及び利用時間	4
施設の案内	5
視聴学習室の利用	6
放送大学附属図書館等の利用	8
放送教材（DVD・CD）の郵送貸出	9
インターネットを活用した在学生向けシステム	11
各種届出等	14
諸証明書等	15
学習の基本的事項	16
単位修得までの流れ（学部）	17
単位修得までの流れ（大学院）	18
2024年度 学習センター受験者用の単位認定試験時間割（大学院）	19
2024年度第1学期 学習センター受験者用の単位認定試験時間割（学部）	20
2024年度第2学期 学習センター受験者用の単位認定試験時間割（学部・予定）	22
2024年度学年暦	24
登録科目名等のメモ	28
学習進度チェック表	30
課外活動等紹介	31
2024年度佐賀学習センター閉所日カレンダー	32
佐賀学習センター案内図	33

## ❖ 佐賀学習センターのスタッフ ❖

センター所長	滝澤 登（化 学）	事 務 長	高祖 和久
客員教授	船久保公一（物 理 学）	事 務 職 員	市山 郁生
客員教授	吉住 磨子（美 術 史）	〃	西村 和久
客員教授	羽石 寛志（情 報）	〃	前田 麻那
客員教授	中尾友香梨（日本文学）	〃	堤 陽子
客員准教授	山崎美穂子（英 文 学）	〃	野副 朋子
客員准教授	中島 俊思（心 理 学）		
客員准教授	孫 友容（法 学）		

# はじめに

## コロナ禍を越えて - AIと学び -

2023年度はコロナ感染症の社会への影響も小さくなり、佐賀学習センターでも面接授業やセミナー、マンスリーゼミなど対面での活動が再開された年となりました。2024年度はよりコロナ前に近い状況で対面活動を実施し、学生みなさんの多様な学びへの要望に対応していきますので、みなさんの主体的な学習にぜひご利用ください。

さて、コロナ禍に強い影響を受けたここ数年の社会状況の中で、特筆される変化は、SNSの爆発的普及とAI（人工知能）機能の著しい発展でしょう。人の能力の多くがAIにとって代われ、社会的変化が急激に進むのではないかという予想も多くなされています。このような状況下で、人が学ぶことの意義、人に求められる能力などについて、少し立ち止まって考えを巡らせてみましょう。

生成AIなどの能力は、現状では、“巧みな剽窃マシン”という段階で留まっているように思えます。機械と人間との能力比較において、囲碁や将棋などでAIのほうが優れていることが示されるなど、あたかも人の思考力・創造力を生成AIが超えていくかのような錯覚が生まれていますが、現状でAIが達成できている事柄は、単純な最終目標いわゆる勝ち負けの判断基準とそれに至る手段・ルールが明確に規定されている課題の解決であり、曖昧さを内包した社会における課題や価値を見出し、創造するという人本来の知能の獲得には至っていないようです。言い換えれば、ただ単に、過去に明らかになった事柄を暗記して組み合わせるだけの学びでは、AIには太刀打ちできないということであり、人の創造性や思考能力を刺激する学びを継続することが重要なのです。そのためには、ひとつの事柄に集中して学ぶことも、幅広く知識を求めて学ぶことも、AIを活用して学ぶことも有用であり、みなさん各々が学んだ知識から試行錯誤しながらAIでは生むことができない独自の価値を創造しようとするのが大切なのではないのでしょうか。

佐賀学習センターでは、放送授業やオンライン授業によるみなさんの学びのお手伝いをするとともに、地域性も取り入れた多様な面接授業やサークルならびにマンスリーゼミなど少人数での学びの機会を提供しています。放送大学での学びで疑問や困難さを感じられたときには、お気軽にアバンセ4階の学習センターをお尋ねください。深い学び、多様な学びからみなさん個々の学びを充実させていきましょう。

放送大学佐賀学習センター所長

滝澤 登

# 放送大学及び佐賀学習センターの沿革

昭和56年 6月	放送大学学園法（昭和56年法律第80号）公布・施行
7月	放送大学学園設立
58年 1月	放送大学設置認可
4月	放送大学設置
60年 4月	学習センター学生受入れ開始、放送授業開始
平成10年 1月	C S デジタル放送による全国放送開始
4月 1日	放送大学佐賀学習センター仮事務所設置（佐賀市城内、旧佐賀県視聴覚ライブラリー跡）
6月12日	放送大学佐賀学習センター事務所開き（佐賀市天神、アバンセ4 F）
7月 5日	放送大学第105回公開講演会開催（アバンセ第1研修室）
9月18日	放送大学佐賀学習センター開所式
10月 1日	全国の学習センターで全科履修生受入れ開始 放送大学佐賀学習センター学生受入れ開始
11年12月 3日	佐賀短期大学との単位互換協定調印
12年 5月12日	佐賀女子短期大学との単位互換協定調印
10月20日	佐賀大学との単位互換協定調印
11月16日	九州龍谷短期大学との単位互換協定調印
13年 4月	放送大学大学院修士課程設置
6月19日	西九州大学との単位互換協定調印
14年 4月	放送大学大学院生受入れ開始、放送授業開始
15年10月	放送大学学園法（平成14年法律第156号）の施行に伴い、特殊法人から特別な学校法人に移行
19年12月18日	「大学コンソーシアム佐賀」設置（県内5大学及び放送大学佐賀学習センター）
20年 5月31日	放送大学佐賀学習センター開設10周年記念講演会開催 県内5大学及び放送大学において単位互換協定締結
23年10月	B S デジタル放送開始
26年 4月	放送大学大学院博士後期課程設置
27年 4月	オンライン授業配信開始
30年 3月	放送大学佐賀学習センター学生等交流室の増床及び個室化
6月 2日	放送大学佐賀学習センター開設20周年記念式典・記念講演会開催
令和 3年 1月15日	唐津ビジネスカレッジとの連携協定の覚書を締結

## 開所日及び利用時間

期 間	曜 日	事務室の利用時間	視聴学習室の利用時間
通常期間 〔4月1日～7月13日〕 〔7月23日～1月18日〕 〔1月28日～3月31日〕	火～土	9:30～17:45	
	日	8:30～16:45	
単位認定試験実施期間 〔7月14日～7月22日〕 〔1月19日～1月27日〕		9:00～19:00	9:00～18:45
		※自宅受験の場合の、事務室・視聴学習室の利用時間は通常期間と同じです。	
閉所日	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 月曜日</li> <li>* 国民の祝日</li> <li>* 年末年始（12月29日～1月3日）</li> <li>* 所長が特に必要と認めた日（8月12～15日）</li> </ul>		

☆ 学習センターの開所日及び利用時間は、学習センター毎に地域の実情に応じて異なりますので、所属以外の学習センターを利用の際はご注意ください。

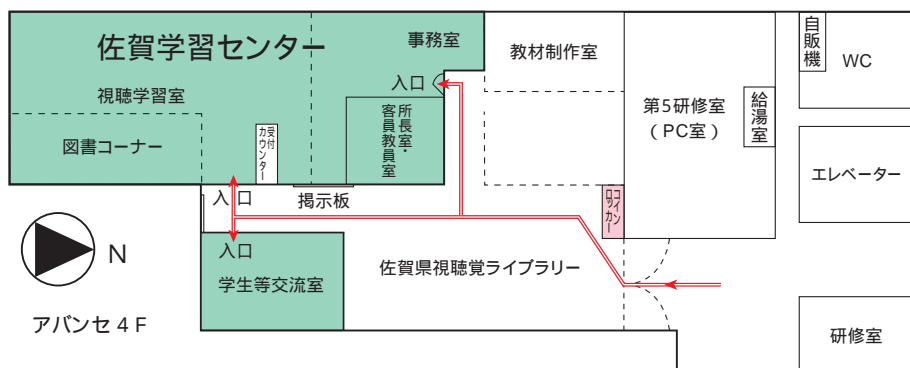


視聴学習室



Webブース、視聴学習室受付、バリアフリースペース

# 施設の案内



## ○事務所

履修に関すること、各種手続き、諸証明書の発行等を行っています。必要のつど申し込んでください。

その他、分からないことは気軽にご相談ください。

## ○視聴学習室

すべての印刷教材が備えられており、個別の視聴席で、都合の良い時間に学習できます。図書資料として、事典・辞書類を中心に学習の参考図書を配架しています。

## ○受付カウンター

放送教材の視聴、図書資料の閲覧など視聴学習室の利用に関する手続きは、すべて受付カウンターで行います。

## ○掲示版

センターの閉所日、利用時間の変更、その他学生へのお知らせは掲示版に掲示します。センターに来られたら、必ず掲示版を見るようにしてください。

\* 視聴学習室利用の場合は、学習上必要なもの以外の持ち込みはできません。不要なものはアバンセの1階と4階の県視聴覚ライブラリーの入口に設置されている **コインロッカー** を利用してください（使用時には100円硬貨が必要ですが、後で返却されます）。

\* 駐車場については、アバンセ北側の駐車場を利用してください。

## 視聴学習室の利用

視聴学習室（図書コーナー含む）は、放送大学の授業や講座の視聴など、学生皆さんが、放送大学で学ぶために必要な自己学習支援のため、センター内に設置しています。

授業等に必要な放送教材や配架している参考図書の閲覧、室内にある個別ブース（机）での放送授業の視聴といった学習にご利用ください。（それ以外での目的での利用については、アバンセ1～3階内に数カ所設けられているスペースをご利用ください。）

※ 利用時間については4ページをご参照ください。

### 利用申込み

入口にある受付カウンターで学生証を提出し入室、図書閲覧、視聴等を始めてください。職員不在の場合は、受付カウンターにあるチャイムを押してください。

#### \* 「バリアフリースペース」（図書・視聴学習室の入口横に設置）の利用について

車椅子等を利用されている等の障がい者、介助同行される方など、学習や行動に支援を要する方を対象としたスペースとして「バリアフリースペース」を設置しています。

- ①利用希望される際は、事前（利用日の1日前まで）に、佐賀学習センターあてメールまたは電話で学籍番号、氏名、連絡先、支援が必要な状況（車椅子等を利用、介助者同行等）をご連絡ください。
- ②利用日当日に、「バリアフリースペース」が空いている場合は、支援を必要としない学生皆さんにも利用いただけます。受付カウンターで利用の申込みをして下さい。  
なお、利用中に、車椅子等を利用される方や介助者が同行される方など、学習や行動に支援を必要とされる方が、来所・利用希望された場合は、利用を中断し「バリアフリースペース」を譲って頂きますのであらかじめ、御了解ください。

### 放送授業の視聴方法

視聴機器の操作は丁寧に行ってください。誤った操作をしますと機器が損傷、故障するおそれがありますので、不明な点があれば職員におたずねください。

#### （1）放送教材（DVD・CD）を再生しての視聴

- ・DVD、CDプレーヤーを設置した個別ブース（机）でご利用ください。
- ・2017年度までに開設された科目、2018年度の開設科目（大学院科目を除く）のDVD・CDを1セット配架しています。これらの科目については、閉講するまでの間、配架を行います。
- ・2019年度以降の新規開設科目のDVD・CDについては、配架を行いません。

#### （2）パソコンでの視聴

- ・個別ブース（机）に設置しているパソコンで放送授業のインターネット視聴ができます。
- ・うち2席のパソコンでシステムWAKABAにアクセスすることができます。



### (3) 個人のパソコン等の持込による視聴（学習センターの無線LAN（Wi-Fi）の接続）

放送授業の視聴等のため、視聴学習室へ個人のパソコン等（スマートフォン、タブレットを含む）の持込使用が可能です。視聴には学習センターが付与する認証用IDとパスワードが必要です。利用の際は、下記研修を受講のうえ手続きをお願いします。

- ①放送大学が指定するeラーニングのサイバーセキュリティ研修（放送大学の自己学習サイト「情報セキュリティ研修（学生用）」）を受講してください。
- ②受付カウンターで「無線LAN利用申請書」に必要事項を記入して提出してください。あわせて、上記①研修の小テストに合格すると発行される「修了証」を提示してください。
- ③「無線LAN利用許可書」に記載されている認証用IDとパスワードを入力して、ネットに接続してください。

### (4) 自分用パソコン持込み方式（BYOD）のご案内

パソコンを使用して実施する面接授業は、これまで学習センターのパソコンを使って実施してきました。しかし、2024年度第1学期以降、学習センターのパソコンとプリンターが廃止されます。

- ①学習センターの無線LAN（Wi-Fi）に接続する場合、所定の手続きを面接授業の受講前日までに行う必要があります。手続きの詳細は上記（3）「個人のパソコン等の持込による視聴」をご参照ください。
- ②学習センターにプリンターはありませんので、紙媒体でレポート提出が必要な場合、自宅やコンビニ等で印刷いただく必要があります。

## 図書資料の室外貸出

2019年4月から学習センター所属図書資料の室外貸出がなくなり、放送大学本部にある附属図書館で一括して行っています。

放送大学所蔵の図書資料は、放送大学OPAC（図書館蔵書検索システム）で検索できますので、視聴学習室の学生パソコンをご利用ください。

佐賀学習センターへのご希望の図書の配送を希望される方は、放送大学OPACでの申込み、あるいは視聴学習室備え付けの申込書で手続きを行ってください。（ご自宅へ配送される場合の送料は個人負担となります。）

- ①教養学部学生は、貸出期間は1ヶ月以内、冊数は1回10冊まで
- ②大学院学生は、貸出期間は1ヶ月以内、冊数は1回修士20冊、博士30冊まで

詳しくは放送大学附属図書館のホームページ（<https://lib.ouj.ac.jp/>）、「学生生活の葉」の附属図書館の利用方法をご覧ください。

## 文献複写

図書資料の複写を希望する者は「文献複写申込書」に記入し、複写する図書資料とともに受付カウンターに申し込んでください。

- ①文献複写の申し込みは、視聴学習室利用時間終了30分前までです。
- ②文献複写料金は、コピー1枚につきモノクロ10円、カラー50円です。
- ③文献複写については、著作権法により制限がありますのでお尋ねください。

# 放送大学附属図書館等の利用

## 放送大学附属図書館の利用（千葉市美浜区若葉2-11）

学習センターを通して図書の貸出し、文献複写、他大学図書館の利用申し込みなどができます（文献複写料金、郵送料等は申込者負担）。なお、利用の際は学生証が必要です。

また、本部図書館資料の貸出状況は、学習センター図書端末及びOPAC（蔵書検索システムの詳細については「学生生活の栞」をご覧ください）で検索できます。

新型コロナウイルス等の感染症の拡大防止のため、利用可能なサービスが通常時と異なっております。今後の状況の変化により、サービス内容を変更する可能性がありますので、皆様におかれましてはWebページ等で随時確認のうえ、ご利用ください。

## 佐賀大学附属図書館の利用

佐賀大学附属図書館を利用する場合は、図書館カウンターで学生証を提示し、所定の手続きを行い、「図書館利用証」の交付を受けてください。なお、利用に際しては佐賀大学附属図書館利用規程などに従ってください。

## 放送大学セミナーハウスの利用

放送大学学園本部（千葉市）にあるセミナーハウスは、研修、演習、実習、放送大学公認の学生団体が行う課外活動、あるいは学生の個人学習のための利用が可能で、宿泊もできます。

詳しくは「学生生活の栞」116～119ページをご覧ください。

Webページ等で随時確認のうえ、ご利用ください。

# 放送教材（DVD・CD）の郵送貸出

BS放送が受信できない又はインターネット環境がない等、ご家庭等に放送授業を視聴する環境がない場合でも、放送教材（DVD・CD）を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。（2025年3月19日～2025年3月31日は特別整理期間のため、郵送貸出しは行いません）

※学習センターでは室外・郵送貸出しを行いません。

## 1 貸出できる放送教材

- (1) 学期の初めから単位認定試験期間終了まで
  - ・履修している科目
  - ・再試験を受験する科目
  - ・特別講義
- (2) 単位認定試験期間の翌日からその学期終了まで
  - ・開講中（1学期は閉講後再試験科目を含む）の全ての科目
  - ・特別講義

## 2 貸出期間・貸出数

- (1) 貸出し期間  
20日間以内
- (2) 貸出し枚数  
DVD・CD合わせて5枚以内

※上記の日数には、放送大学本部からの発送日及び返却到着日を含みます。

## 3 貸出方法

放送教材貸出申込書を「郵送」又は「FAX」してください。「インターネット」による申込みもできます。なお、お電話での申込みは一切受け付けません。放送大学本部からの郵送方法は第四種郵便のみとし、送料は往復分とも申込者（学生）負担となります。

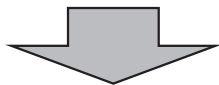
## 4 放送教材の郵送貸出し申込みから返却までのながれ

- a 申込みに必要なもの
  - i) 放送教材郵送貸出申込書（※申込書は、「学生生活の葉」の巻末の様式18をA4に拡大コピー又はシステムWAKABA「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードしてください。）

- ii) 送料分の切手（※郵便料金は料金表を参照してください。）
  - ・ 郵送申込みの場合：申込用紙に切手を貼付してください。
  - ・ FAX申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。
  - ・ インターネット申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。



- b 放送大学本部：学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当 から申込受付順に放送教材を確認して発送（発送作業は平日（土・日・祝休日・年末年始・特別整理期間のぞく））
  - ※正午以降に受付けた場合は、翌発送日の取扱いとなります。



- c 視聴後、放送大学本部：学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当 へ返送
  - ・ 郵送された際に同封されていた申込書のコピーも放送教材と一緒に返送してください。
  - ・ 新たに放送教材貸出の申込みを行う場合は、新規に貸出申込書を作成し、送料分の切手を貼付してください。

#### 【第四種郵便（通信教育用）料金表】

～100 g	101～200 g	201～300 g	301～400 g
15円	25円	35円	45円

#### ◎料金の目安

DVD・CD 共通 1枚：15円、2枚：25円、3～4枚：35円、5枚：45円

※郵送申込みを第四種郵便で行う場合は、封筒のサイズを最小縦14cm・横9cm、最大縦60cm・縦と横と厚さの合計90cmに収め、封筒ののりしろ部分を3分の1程度切り取り、「文部科学省認可通信教育」と表示してください。

※速達による郵送を希望する場合には、料金分の切手を追加し、郵送又はFAXによる申込の場合には申込書の「速達希望」の「する」にマルを付けてください。インターネットによる申込みの場合には、第1希望の科目名の後に「速達希望」と入力してください。

## 5 申込み先

### (1) 郵送による申込み

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11

放送大学 学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当

電話番号 043-276-5111（総合受付）

### (2) FAXによる申込み

FAX番号 043-298-4510

### (3) インターネットによる申込み

[https://www.ouj.ac.jp/hp/BorrowDVD\\_v01/borrow\\_dvd/borrow](https://www.ouj.ac.jp/hp/BorrowDVD_v01/borrow_dvd/borrow)

# インターネットを活用した在学生向けシステム

## 放送大学ホームページ URL <https://www.ouj.ac.jp/> ※1

放送大学ホームページには、在学生への各種情報やお知らせが多く掲載されています。各種パンフレット、放送大学で目指せる資格、公開講演会等の案内、授業科目（シラバス）、動画チャンネル、学生の声等多くの役立つ情報がありますので、是非、ご利用ください。

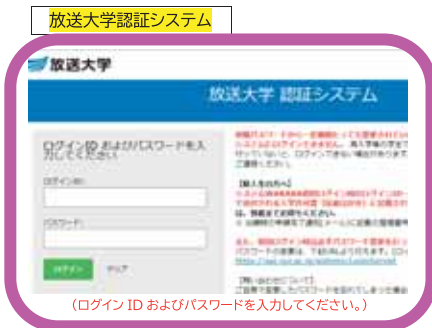
## 教務情報システム（システムWAKABA） ※2

学籍情報や単位の修得状況などを閲覧するための「教務情報機能」に加え、学生生活における各種お知らせや手続き情報を取得するための「キャンパスライフ機能」、放送授業等の履修科目の学修を支援するための「授業サポート機能」があり、本学学生のためのポータル（入口）サイトとしても機能します。

1. 放送大学HPにアクセスし、トップページ上部中央「在学生（WAKABA）」をクリックし、「在学生の方」の「システムWAKABA（教務情報システム）」をクリックするとログイン画面が出ますので、ログインボタンをクリックしてください。



2. 次に放送大学認証システムの画面が出ますので、初めてログインする際には入学許可証に記載のログインID・パスワードを入力し、ログインボタンを押してください。  
なお不正使用を防ぐために必ず初期パスワードを変更してください。



【ログイン方法】

- ①まず、画面左側にある「ログインID」の入力欄をクリックし、学生番号を半角数字10桁で入力してください。
- ②次に、「パスワード」の入力欄をクリックし、ご自身で設定したパスワードを入力してください。
- ③ログインIDとパスワードの両方を入力したら、最後に「ログイン」をクリックしてください。

【パスワードロック】

- ①システムWAKABA及び各種システム(Web単位認定試験)について**初期**

パスワードから一定期間たっても変更していない学生は、ロックアウトされ、システムにログインできません。

- ②システムWAKABAへのログインに関する問合せ先は、下記のとおりとなっています。
  - ・各学習センター ・学生サポートセンター ・教務課教務係(kyomuka@ouj.ac.jp)
- ③パスワードの初期化後、初期パスワード(生年月日8ケタ)でログイン、翌朝6:00までにパスワード変更を行わないと、再びアカウントがロックされます。

3. システムWAKABAへログイン後、①お知らせ(本部からのメッセージが表示されます。)、②キャンパスメール(大学からの連絡事項が届きます)、③メインメニュー(キャンパスライフ、授業サポート、教務情報の各機能が利用できます。)④学内リンク(Web通信指導、Web単位認定試験、放送授業のインターネット視聴、試験の過去問題・解答の閲覧等)ができます。

システムWAKABA ※ 2



【学内リンク】  
各システムへのリンク

- ・Web通信指導  
単位認定試験受験資格取得の為提出
- ・Web単位認定試験  
原則、自宅で受験
- ・オンライン授業
- ・放送授業  
テレビ、ラジオ科目
- ・過去の試験問題公表  
2学期間分を公表
- ・面接授業  
関連情報の提供
- ・自己学習サイト
- ・看護師国家試験支援
- ・修士論文閲覧
- ・放大附属図書館関連
- ・ライブWeb授業
- ・学習センター一覧
- ・放大トップページ

③

## キャンパスメール ※3

Webブラウザを利用した電子メールシステムで、学生全員にメールアドレスが割り振られます。システムWAKABAのログイン画面（12ページ3の画面）の左上部の「キャンパスメール」のボタンをクリックして利用してください。

大学から修学関連の連絡を随時しますので、定期的にキャンパスメールを確認するようにしてください。キャンパスメールは学生から大学への連絡手段としてもご利用いただけます。（学生メールは本学に在籍しなくなると使用できなくなり、送受信の記録も消去されますのでご注意ください。）

キャンパスメール



## 佐賀学習センターホームページ ※

URL <https://www.sc.ouj.jp/center/saga/>

大学情報、佐賀学習センター独自の情報を発信しています。センターからのお知らせ、教務スケジュールやイベント、緊急情報などを掲載していますので是非ご利用ください。



### 佐賀学習センターお知らせメール配信サービス

佐賀学習センターにメールアドレスを登録されると授業や試験等に関するお知らせや緊急連絡等のメール配信を受けられます。登録方法の詳細は、佐賀学習センターホームページに掲載しています。

- ・センタースケジュール
- ・面接授業一覧
- ・公開講演会、オープンキャンパス
- ・機関誌（ハルーン）紹介
- ・施設利用案内、アクセス
- ・Zoomアプリを使用したWEB授業等について

- ・面接授業（佐賀 SOI）開設科目案内
- ・サークル活動
- ・マンスリー・ゼミ

（佐賀学習センターからのお知らせ）

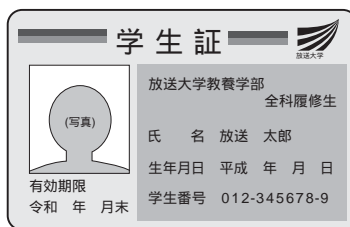
※ インターネットに接続された自宅などのパソコンからアクセスできます。

# 各種届出等

## 学生証の発行

学生証の発行は、佐賀学習センターで行います。  
単位認定試験や視聴学習室利用の際に必要なのですので、事務室で手続きを受けてください。

また、紛失、汚損等による使用不能、氏名の変更等の場合は、再発行の手続きを行ってください。  
(詳細及び再発行については、「学生生活の葉」を参照してください。)



## 各種届出

下記の書類は、提出期限内に到着するよう指定の提出先へ提出してください。  
各種様式は、「学生生活の葉」巻末に添付されています。詳細については、「学生生活の葉」を確認してから提出してください。

なお、教務情報システム（システムWAKABA）からも利用できます。

提出書類	提出先	提出期限	
		第1学期	第2学期
所属学習センター 変更願 次学期に学籍がない方は 変更できません。	<b>学部</b> 本部学生課 <b>大学院</b> 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	☆第2学期からの変更 4月20日から8月10日まで	☆翌年度第1学期からの変更 10月20日から翌年の2月8日まで
所属コース・専攻変更願兼 カリキュラム移行届(学部のみ)	<b>学部</b> 本部学生課	☆第2学期からの変更 4月20日から6月7日まで	☆翌年度第1学期からの変更 10月20日から12月7日まで
住所等変更届	<b>学部</b> 所属学習センター <b>大学院</b> 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	変更後すみやかに提出してください。 ※ 住所変更する際は、郵便局へ「転居届」も提出してください。 (引越先によっては、所属学習センターへ変更を行ってください。)	
氏名等変更届	<b>学部</b> 本部学生課 <b>大学院</b> 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	変更後すみやかに提出してください。 ※ 学生証の再発行手続きも必要です。(所属学習センター) 一緒に提出してください。	
休学願・復学願 科目履修生・修士科目生は 休学できません。	<b>学部</b> 本部学生課 <b>大学院</b> 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	☆第2学期から休学又は復学する 場合 システム：4月20日から9月30日まで 郵 送：4月20日から9月25日まで	☆翌年度第1学期から休学又は 復学する場合 システム：10月20日から翌年3月31日まで 郵 送：10月20日から翌年3月25日まで
退学願 科目履修生・修士科目生は 退学できません。	<b>学部</b> 本部学生課 <b>大学院</b> 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	☆第1学期末で退学する場合 システム：4月20日から9月30日まで 郵 送：4月20日から9月25日まで	☆第2学期末で退学する場合 システム：10月20日から翌年3月31日まで 郵 送：10月20日から翌年3月25日まで
単位認定試験 受験場所変更願 システムWAKABAから 可也	<b>学部</b> 本部学生課 <b>大学院</b> 本部学生課	第1学期単位認定試験から変更 4月1日～5月24日	第2学期単位認定試験から変更 10月1日～11月24日
		第2学期単位認定試験から変更 7月23日～8月6日	2025年度第1学期科目登録から変更 2025年1月28日～2月4日





# 学習の基本的事項

詳細については、「学生生活の葉」を参照してください。

## ○学習の方法

### ・放送授業

放送の視聴と印刷教材（テキスト）による学習とを組み合わせる行う授業で、自宅でのテレビ・ラジオのBS放送視聴、インターネット配信の視聴のほか、センターの視聴学習室での視聴や大学本部からの放送教材の郵送貸出による自宅での視聴ができます。

### ・オンライン授業

インターネット上で提供される諸情報（映像や資料等）による学習をし、双方向性を活かした設問解答、課題解答、討論への参加等により行う授業です。印刷教材はありません。授業実施や評価の方法は科目により異なりますので、授業科目案内で確認してください。

### ・面接授業

学習センター等で、教員から直接指導を受ける授業で、全国各センターで開催される面接授業も受けることができます。原則として1時限90分の授業を7回、45分の授業を1回、計8回行い、出席及び学習状況、レポート等により評価され、合格すると1単位が認定されます。

受講に当たっては、別途送付される面接授業時間割表等の冊子を参照してください。

## ○通信指導

通信指導（レポート）は、原則として第8回までの放送及び印刷教材により行われた授業に関する課題に解答し、その答案の添削を通して行う指導です。

全ての科目について1回行います。レポートを期限まで郵送またはインターネット[Web]で本部へ提出しなかったり、提出しても不合格となった場合は、学期末の単位認定試験の受験資格が認められません。第2学期から原則Web通信指導で提出。

ただし在籍の場合は次学期に限り、通信指導が受けられます。その場合未提出・不合格の科目については科目登録の手続きをしなくても自動的に再度通信指導が本部から送付されます。

## ○単位認定試験

各学期末（7月下旬、1月下旬）に「Web受験方式（一部科目については郵送受験方式）」を基本とし実施されます。インターネット環境がない、またはパソコン操作が困難等の事情によりWeb受験が困難な方は入学手続き時に、出願で学習センター受験を選択するかシステムWAKABAで変更手続きを行うことで、単位認定試験を佐賀学習センターで受験することができます。科目登録し、通信指導に合格した方は、その科目の単位認定試験を受験することができます。

「実施方法」および「出題形式」によって試験期間が異なりますのでご注意ください。

実際の受験がスムーズに操作できるよう、使用する予定の端末から必ずWeb単位認定試験操作体験版の操作を行ってください。また、学習センターが開催する同体験会にご参加ください。

## ○再試験

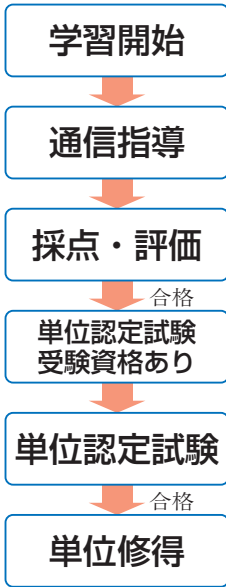
科目登録をした学期において単位認定試験を受験した結果、不合格となった場合又は受験資格があったが受験できなかった場合、次の学期に限り科目登録を行わなくても単位認定試験を受験することができます（受験料不要）。ただし、科目登録した学期で在学期間が終了する方は、改めて次の学期の入学出願を行い、学籍を継続することが必要です。

## ○学習指導・相談

センター所長及び客員教員が、直接学習上の種々の相談に応じます。

# 単位修得までの流れ（学部）

今学期



未提出

不合格

不合格

学籍の継続が条件

学籍の継続が条件

## ◎通信指導

放送及び印刷教材により行われた授業について、各学期の途中に1回一定の範囲で出題され、その答案(レポート)の添削を通して担当教員の指導を受けること。

## ※1

次学期の通信指導については前ページの◎通信指導 ただし書を参照下さい。

## ◎卒業研究(以下の手続きが必要)

毎年4月から履修開始  
前年6月上旬「卒業研究履修の手引」配付  
前年8月中旬「卒業研究申請書」提出  
審査後 1月履修可否決定、2月科目登録

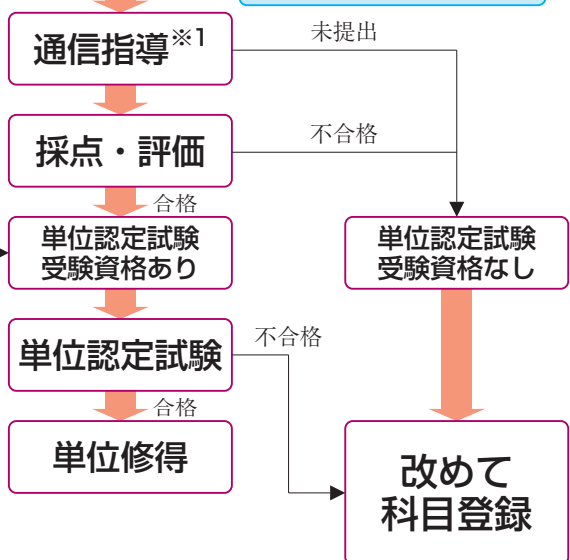
次学期

## ◎全科履修生・次学期も学籍がある選科履修生

放送大学本部から「科目登録申請要項」が送付されますので、履修しようとする授業科目を記入して本部へ郵送してください。

## ◎学籍が切れる全科・選科・科目履修生(学部・大学院)

放送大学本部から「継続のご案内」のプリントが送付されますので、継続入学を希望される方はWAKABA「継続入学申請」出願または郵送出願(資料請求で入手)して下さい。



未提出

不合格

不合格

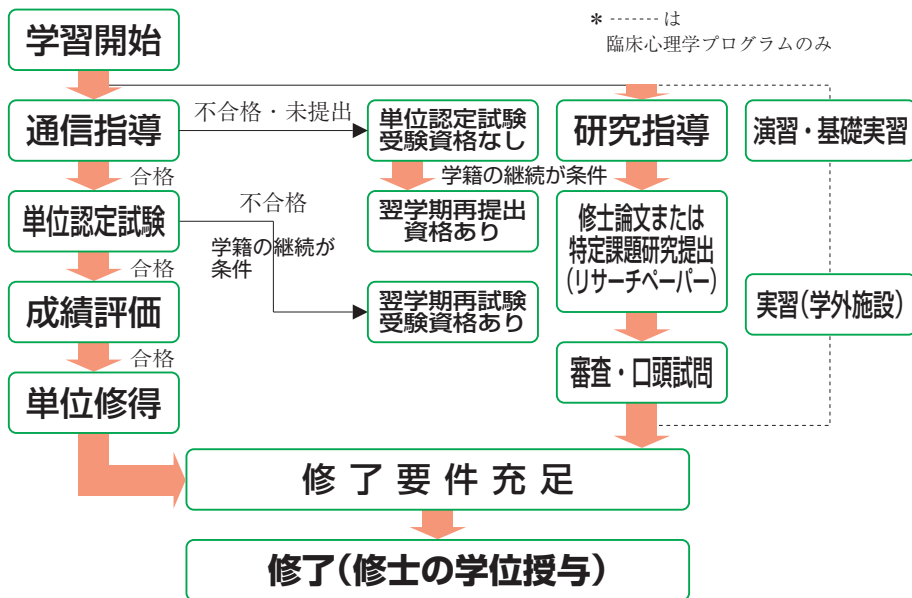
合格

合格

合格

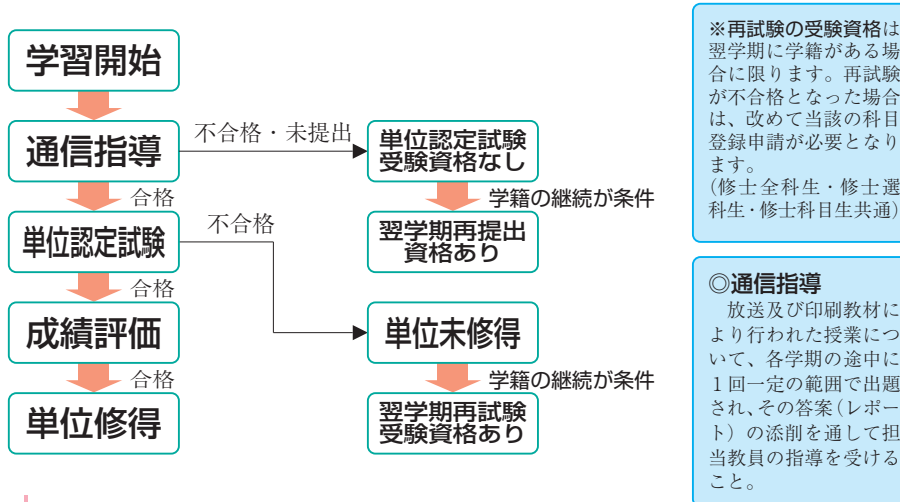
## 単位修得までの流れ（大学院）

### 修士全科生 学位取得まで



大学院（修士全科生、博士全科生）に入学するためには前年度8月中旬に出願し、9月末又は10月初めの1次選考（筆記試験）、11月の2次選考（面接試問）に最終合格する必要があります。

### 修士選科生・修士科目生 単位認定まで



# 2024年度 学習センター受験者用の単位認定試験時間割 (大学院)

**第1学期** ※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

**(予定) 第2学期** ※第2学期の試験時間割は変更される場合がありますので、必ず2024年度第2学期の「授業科目案内」で確認してください。  
※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

時限	曜日	7月16日(火)	7月17日(水)
<b>1</b> 9:15 ↓ 10:05		計算論 ('16) 生活リスクマネジメント ('17) 発達心理学特論 ('21) 公共政策 ('22)	心理・教育統計法特論 ('21) 数理科学 ('21) 日本文化と思想の展開-内と外と ('22)
<b>2</b> 10:25 ↓ 11:15		教育文化の社会学 ('17) 情報デザイン特論 ('22) 臨床心理学研究法特論 ('23)	コミュニケーションヘルスケア研究 ('19) カリキュラムの理論と実践 ('21) 保健医療心理学特論 ('22)
<b>3</b> 11:35 ↓ 12:25		臨床心理面接特論 I ('19) 現実と向き合う政治理論 ('22)	障害児・障害者心理学特論 ('19) 知財制度論 ('20) リスク社会における市民参加 ('21) 異文化との出会い ('22)
<b>4</b> 13:15 ↓ 14:05		コンピューティング ('19) 成人の発達と学習 ('19) 西洋中世史 ('21) 臨床心理学特論 ('23)	教育心理学特論 ('18) 美学・芸術学研究 ('19) 家族政策研究 ('21) 教育心理学特論 ('24)
<b>5</b> 14:25 ↓ 15:15		現代社会心理学特論 ('15) 道德教育の理念と実践 ('20) マルチメディア情報処理 ('20) 要求工学 ('24)	海外の教育改革 ('21) 精神医学特論 ('22) 経済政策 ('22)
<b>6</b> 15:35 ↓ 16:25		生活変動と社会福祉 ('18) 情報学の技術 ('18) 臨床心理面接特論 II ('19) 日本文学の研究史 ('21)	教育行政と学校経営 ('20) 地域産業の発展と主体形成 ('20) 司法矯正・犯罪心理学特論 ('20) 教育行政と学校経営 ('24)
<b>7</b> 16:45 ↓ 17:35		現代物理の展望 ('19) モダニズムの文学と文化 ('21) 福祉政策と人権 ('22) 音楽・情報・脳 ('23)	ヘルスリサーチの方法論 ('19) 日本史史料を読む ('21) 人的資源管理 ('22)
<b>8</b> 17:55 ↓ 18:45		スポーツ・健康医科学 ('19) ソフトウェア工学 ('19) 社会的協力論 ('20) 臨床心理地域援助特論 ('21)	朝鮮の歴史と社会-近世近代 ('20) 健康・スポーツ科学研究 ('21) 学校臨床心理学特論 ('21) 教育老年学 ('22)

時限	曜日	1月16日(木)	1月17日(金)
<b>1</b> 9:15 ↓ 10:05		朝鮮の歴史と社会-近世近代 ('20) 健康・スポーツ科学研究 ('21) 学校臨床心理学特論 ('21) 教育老年学 ('22)	スポーツ・健康医科学 ('19) ソフトウェア工学 ('19) 社会的協力論 ('20) 臨床心理地域援助特論 ('21)
<b>2</b> 10:25 ↓ 11:15		心理・教育統計法特論 ('21) 数理科学 ('21) 日本文化と思想の展開-内と外と ('22)	計算論 ('16) 生活リスクマネジメント ('17) 発達心理学特論 ('21) 公共政策 ('22)
<b>3</b> 11:35 ↓ 12:25		カリキュラムの理論と実践 ('21) 保健医療心理学特論 ('22)	教育文化の社会学 ('17) 情報デザイン特論 ('22) 臨床心理学研究法特論 ('23)
<b>4</b> 13:15 ↓ 14:05		障害児・障害者心理学特論 ('19) 知財制度論 ('20) リスク社会における市民参加 ('21) 異文化との出会い ('22)	臨床心理面接特論 I ('19) 現実と向き合う政治理論 ('22)
<b>5</b> 14:25 ↓ 15:15		美学・芸術学研究 ('19) 家族政策研究 ('21) 教育心理学特論 ('24)	コンピューティング ('19) 成人の発達と学習 ('19) 西洋中世史 ('21) 臨床心理学特論 ('23)
<b>6</b> 15:35 ↓ 16:25		海外の教育改革 ('21) 精神医学特論 ('22) 経済政策 ('22)	現代社会心理学特論 ('15) 道德教育の理念と実践 ('20) 要求工学 ('24)
<b>7</b> 16:45 ↓ 17:35		地域産業の発展と主体形成 ('20) 司法矯正・犯罪心理学特論 ('20) 教育行政と学校経営 ('24)	臨床心理面接特論 II ('19) 日本文学の研究史 ('21)
<b>8</b> 17:55 ↓ 18:45		ヘルスリサーチの方法論 ('19) 日本史史料を読む ('21) 人的資源管理 ('22)	現代物理の展望 ('19) モダニズムの文学と文化 ('21) 福祉政策と人権 ('22) 音楽・情報・脳 ('23)

※ 赤字は2023年度閉講予定科目 再試験受験者のみが受験対象となり、第2学期以降は実施しません。

※ 青字は2024年度新規開講予定科目

# 2024年度第1学期 学習センター受験者用の単位認定試験時間割 (学部)

時限	曜日	7月16日(火)	7月17日(水)	7月18日(木)
1 9:15 10:05		国際理解のために (19) 漢文の読み方 (19) 老年看護学 (19) フードシステムと日本農業 (22) 社会教育経営実践論 (22) 哲学・思想を今考える (23) 社会政策の国際動向と日本の位置 (23)	韓国語Ⅱ (20) ビートルズde英文法 (21) 中国語Ⅰ (23) ドイツ語Ⅰ (23)	環境問題のとりえ方と解決方法 (17) Webのしくみと応用 (19) ライフステージと社会保障 (20) 乳幼児の保育・教育 (21) 感覚と応答の生物学 (23) 経営情報学入門 (23) ヒューマンインタフェース (23) 環境と持続可能な経済発展 (24)
2 10:25 11:15		地域コミュニティと教育 (18) グローバル化時代の日本国憲法 (19) 世界文学の古典を読む (20) 現代教育入門 (21) 看護学概論 (22) 近現代ヨーロッパの歴史 (22) 分子の変化からみた世界 (23) コミュニティと教育 (24)	博物館情報・メディア論 (18) 総合人類学としてのヒト学 (18) 社会調査の基礎 (19) 教育・学校心理学 (20) 社会学概論 (21) 現代に生きる現象学 (23) 高齢期を支える (23)	力と運動の物理 (19) 中高年の心理臨床 (20) 社会福祉-新しい地平を拓く (22) 持続可能な社会と生活 (23)
3 11:35 12:25		大学マネジメント論 (20) 母性看護学 (20) 市民自治の知識と実践 (21) 都市から見るヨーロッパ史 (21) 政治学入門 (22) 新時代の生徒指導 (23) かたちの化学-化学の考え方入門 (23) 現代アメリカの政治と社会 (24)	心理臨床と身体の病 (16) ヨーロッパ文学の読み方-近代篇 (19) 教育調査の基礎 (20) 災害社会学 (20) 人文地理学からみる世界 (22) 現代国際社会と有機農業 (23) 日本経済の比較史 (24)	物理の世界 (17) 英語で読む大統領演説 (20) 社会福祉実践とは何か (22) 簿記入門 (22) 貧困の諸相 (23) 進化心理学 (23) 世界の学校 (24) 物理の世界 (24)
4 13:15 14:05		日本美術史の近代とその外部 (18) 量子化学 (19) 行政学概論 (20) 韓国朝鮮の歴史と文化 (21) 西洋哲学の根源 (22) 小児看護学 (22) 神経・生理心理学 (22) 行政学講読 (24)	コンピュータの動作と管理 (17) 食と健康 (18) 数学の歴史 (18) 映像コンテンツの制作技術 (20) 情報化社会におけるメディア教育 (20) 日本の文化と教育 (23) 食と健康 (24) 情報化社会におけるメディア教育 (24)	リハビリテーション (19) 社会・集団・家族心理学 (20) アルゴリズムとプログラミング (20) メディア論 (22) 行政法 (22) より良い思考の技法 (23)
5 14:25 15:15		小学校外国語教授基礎論 (17) 太陽と太陽系の科学 (18) 日本政治外交史 (19) ユーザ調査法 (20) 成人看護学 (18) 心理臨床における法・倫理・制度 (21) 現代を生きるための化学 (22) 成人看護学 (24)	フランス語Ⅱ (18) 博物館資料保存論 (19) 生活経済学 (20) 運動と健康 (22) 環境を可視化する技術と応用 (23) ドイツ語Ⅱ (23) フランス語Ⅱ (24)	[方丈記]と[徒然草] (18) データ構造とプログラミング (18) 英語で「道」を語る (21) 日本語リテラシー (22) 歴史のなかの人間 (22) 障害者の自立と制度 (24) データ構造の基礎 (24)
6 15:35 16:25		新しい時代の技術者倫理 (15) 文学批評への招待 (18) 問題解決の進め方 (19) 情報化社会と国際ボランティア (19) 文学・芸術・武道にみる日本文化 (19) ヨーロッパ政治史 (20) 原初からへの思索 (22) 生涯学習支援の理論と実践 (22) ヨーロッパ政治史 (24) 情報社会と国際ボランティア活動 (24)	初歩からの数学 (18) 東南アジアの歴史 (18) データの分析と知識発見 (20) 暮らしに活かす不動産学 (22) 西アジアの歴史 (24) データの分析と知識発見 (24)	西洋芸術の歴史と理論 (16) 地球温暖化と社会イノベーション (18) 公衆衛生 (19) 暮らしに役立つバイオサイエンス (21) 子どもの人権をどうまもるのか (21) 精神分析とユング心理学 (23) 公衆衛生 (24)
7 16:45 17:35		精神看護学 (19) 日本政治思想史 (21) 正多面体と素数 (21) 学校図書館サービス論 (21) 日本近現代史 (21) 地域福祉の課題と展望 (22) 西洋の美学・美術史 (24)	日本仏教を捉え直す (18) 健康への力の探究 (19) 心理学研究法 (20) 刑法と生命 (21) アメリカ史・世界史の中で考える (24) 会計学 (24) 原典で読む日本の思想 (24)	基礎看護学 (16) 初歩からの化学 (18) はじめての気象学 (21) 植コ-葉の世界 (23) ファイナンス入門 (23) 知覚・認知心理学 (23) 基礎看護学 (24)
8 17:55 18:45		生活環境と情報認知 (20) 学校と法 (20) 中東の政治 (20) 世界の中の日本外交 (21) 現代の国際政治 (22) 空間と政治 (22) 初歩のロシア語 (22) 学校と法 (24)	カリキュラムと学習過程 (16) 戦後日本教育史 (18) 国際法 (19) 計算の科学と手引き (19) 日本語学入門 (20) 司法・犯罪心理学 (20) 遠隔学習のためのパソコン活用 (21) テーマで学ぶ日本教育史 (24)	生物の進化と多様化の科学 (17) コンピュータとソフトウェア (18) 心理と教育へのいざない (18) 家族問題と家族支援 (20) エンロビーからはじめる熱力学 (20) 睡眠と健康 (21) サプライチェーン マネジメント (21) 心理と教育へのいざない (24)

※ 青字は2024年度新規開講予定科目

※ 赤字は2023年度閉講科目 (再試験科目) 再試験受験者のみが受験対象となり、第2学期以降は実施しません。

元夏季集中 (看護) 科目 看護師養成所で概ね必修科目 (多くの学校で必修となっている科目)

試験のあるオンライン授業科目

※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

7月19日(金)	7月20日(土)	7月21日(日)
日本文学における古典と近代 (18) マーケティング (21) 感情・人格心理学 (21) 現代の内部監査 (22) 微分方程式 (23) 画像処理 (24) 「枕草子」の世界 (24)	発達心理学概論 (17) 特別支援教育基礎論 (20) 場と時間空間の物理 (20) 日本の教職論 (22) 海からみた産業と日本 (22)	疾病の成立と回復促進 (21) 日本文学と和歌 (21) 自然科学はじめの一歩 (22) 古代中世の日本 (23) 住まいの環境論 (23)
教育社会学概論 (19) 経済社会を考える (19) 臨床心理学概論 (20) 「人新世」時代の文化人類学 (20) 著作権法 (22) 自然言語処理 (23)	考古学 (18) 社会統計学入門 (18) 問題解決の数理 (21) 心理カウンセリング序説 (21) 民法 (22) フィールドワークと民族誌 (24) 社会統計学入門 (24)	幼児理解の理論及び方法 (15) 肢体不自由児の教育 (20) 道徳教育論 (21) 中国語Ⅱ (23) 英米哲学の挑戦 (23)
発達科学の先人たち (16) 線型代数学 (17) 経営学概論 (18) 災害看護学・国際看護学 (20) 情報技術が拓く人間理解 (20) 福祉心理学 (21) 経営学入門 (24)	思春期・青年期の心理臨床 (19) 金融と社会 (20) 食の安全 (21) 地理空間情報の基礎と活用 (22) 色を探究する (23) 情報と法 (23) 一般市民のための法学入門 (23)	教育課程の意義及び編成の方法 (15) 現代の家庭教育 (18) 知的障害教育総論 (20) 科学的アセスメント (20) 地域・在宅看護論 (23)
記号論理学 (14) 看護管理と医療安全 (18) 社会福祉と法 (20) 心理学統計法 (21) 雇用社会と法 (21) 情報デザイン (21) 看護管理と医療安全 (24) 記号論理学 (24) 地域生活を支える社会福祉と法 (24)	フランス語Ⅰ (18) 新しい言語学 (18) 韓国語Ⅰ (20) 障害者・障害児心理学 (21) グローバル時代の英語 (22) 博物館概論 (23) 日本語教育学入門 (24) フランス語Ⅰ (24)	生物環境の科学 (16) 入門線型代数 (19) コミュニケーション学入門 (19) 錯覚の科学 (21) 学習・言語心理学 (21) データベース (23) リスクコミュニケーションの探究 (23) 多文化共生のコミュニケーション (24)
グローバル経済史 (18) 死生学のフィールド (18) 生命分子と細胞の科学 (19) 情報社会のユークバーサルデザイン (19) 入門微分積分 (22) イメージの力 (24) グリーフサポートと死生学 (24)	特別支援教育総論 (19) アメリカの芸術と文化 (19) 中国と東部ユーラシアの歴史 (20) コンピュータ通信概論 (20) 精神疾患とその治療 (20) 幼児教育の指導法 (22) 市民生活と裁判 (22) コンピュータ通信概論 (24)	博物館展示論 (16) 乳幼児・児童の心理臨床 (17) 財政と現代の経済社会 (19) 健康長寿のためのスポーツロジック (19) エネルギーと社会 (19) AIシス社会の家族変動 (20) システムと人・社会との関係 (20) 健康長寿のためのスポーツロジック (24)
感染症と生体防御 (18) 情報理論とデジタル表現 (19) 日本の近世 (20) 博物館教育論 (22) 教育の行政・政治・経営 (23) 感染症と生体防御 (24)	都市と地域の社会学 (18) 現代経済学 (19) 情報セキュリティ概論 (22) SDGs下のアジア産業論 (23) 今日のアジアヘルス (23) 都市と地域の社会学 (24)	現代東アジアの政治と社会 (20) 身近なネットワークサービス (20) 開発経済学：アジアの農村から (20) 人体の構造と機能 (22) 人生100年時代の家族と法 (23) イノベーション・マネジメント (23) 新興アジアの政治と経済 (24)
レジリエンスの諸相 (18) コミュニティがつなぐ安全・安心 (20) 疾病の回復を促進する薬 (21) 日常生活のデジタルメディア (22) 学校リスク論 (22) ソーシャルシティ (23) サービスサイエンス (23) レジリエンスの科学 (24)	舞台芸術の魅力 (17) 初歩からの生物学 (18) 統計学 (19) 認知行動療法 (20) ダイナミックな地球 (21) 日本語アカデミックライティング (22) 初歩からの生物学 (24)	解析入門 (18) 心理職の専門性 (20) 権物の科学 (21) 西洋音楽史 (21) 管理会計 (22) 健康と社会 (23) 解析入門 (24)
身近な統計 (18) 心理学概論 (18) 社会と産業の倫理 (21) 情報学へのとびら (22) 教育のためのICT活用 (22) 博物館経営論 (23) 身近な統計 (24) 心理学概論 (24)	国際経営 (19) 宇宙の誕生と進化 (19) 現代の会計 (20) 認知症と生きる (21) 量子物理学 (21) 世界文学への招待 (22) 初歩からの物理 (22)	初歩からの宇宙の科学 (17) 新時代の組織経営と働き方 (20) 産業・組織心理学 (20) NPO・NGOの世界 (21) 環境と社会 (21) 数値の処理と数値解析 (22) 富沢賢治と宇宙 (24)

# 2024年度第2学期 学習センター受験者用の単位認定試験時間割 (学部・予定)

曜日 時限	1月21日(火)	1月22日(水)	1月23日(木)
<b>1</b> 9:15 10:05	精神看護学 (19) 日本政治思想史 (21) 正多面体と素数 (21) 学校図書館サービス論 (21) 日本近現代史 (21) 地域福祉の課題と展望 (22) 西洋の美学・美術史 (24)	ヨーロッパ文学の読み方ー近代篇 (19) 教育調査の基礎 (20) 災害社会学 (20) 人文地理学からみる世界 (22) 現代国際社会と有機農業 (23) 日本経済の比較史 (24)	初歩からの化学 (18) はじめての気象学 (21) 樋口一葉の世界 (23) ファイナンス入門 (23) 知覚・認知心理学 (23) 基礎看護学 (24)
<b>2</b> 10:25 11:15	生活環境と情報認知 (20) 世界の中の日本外交 (21) 現代の国際政治 (22) 空間と政治 (22) 初歩のロシア語 (22) 学校と法 (24)	コンピュータの動作と管理 (17) 数学の歴史 (18) 映像コンテンツの制作技術 (20) 日本の文化と教育 (23) 食と健康 (24) 情報化社会におけるメディア教育 (24)	国際法 (19) 計算科学と手引き (19) 日本語学入門 (20) 司法・犯罪心理学 (20) 遠隔学習のためのパソコン活用 (21) テーマで学ぶ日本教育史 (24)
<b>3</b> 11:35 12:25	国際理解のために (19) 漢文の読み方 (19) 老年看護学 (19) フードシステムと日本農業 (22) 社会教育経営実践論 (22) 哲学・思想を今考える (23) 社会政策の国際動向と日本の位置 (23)	博物館資料保存論 (19) 生活経済学 (20) 運動と健康 (22) 環境を可視化する技術と応用 (23) ドイツ語Ⅱ (23) フランス語Ⅱ (24)	Webのしくみと応用 (19) ライフステージと社会保障 (20) 乳幼児の保育・教育 (21) 感覚と応答の生物学 (23) 経営情報学入門 (23) ヒューマンインタフェース (23) 環境と持続可能な経済発展 (24)
<b>4</b> 13:15 14:05	グローバル化時代の日本国憲法 (19) 世界文学の古典を読む (20) 現代教育入門 (21) 看護学概説 (22) 近現代ヨーロッパの歴史 (22) 分子の変化からみた世界 (23) コミュニティと教育 (24)	初歩からの数学 (18) 暮らしに活かす不動産学 (22) 西アジアの歴史 (24) データの分析と知見発見 (24)	力と運動の物理 (19) 中高年の心理臨床 (20) 社会福祉ー新しい地平を拓く (22) 持続可能な社会と生活 (23)
<b>5</b> 14:25 15:15	大学マネジメント論 (20) 母性看護学 (20) 市民自治の知識と実践 (21) 都市から見るヨーロッパ史 (21) 政治学入門 (22) 新時代の生徒指導 (23) かたちの化学ー化学の考え方入門 (23) 現代アメリカの政治と社会 (24)	韓国語Ⅱ (20) ビートルズ de 英文法 (21) 中国語Ⅰ (23) ドイツ語Ⅰ (23)	英語で読む大統領演説 (20) 社会福祉実態とは何か (22) 簿記入門 (22) 貧困の諸相 (23) 進化心理学 (23) 世界の学校 (24) 物理の世界 (24)
<b>6</b> 15:35 16:25	日本美術史の近代とその外部 (18) 量子化学 (19) 韓国朝鮮の歴史と文化 (21) 西洋哲学の根源 (22) 小児看護学 (22) 神経・生理心理学 (22) 行政学講読 (24)	博物館情報・メディア論 (18) 総合人類学としてのヒト学 (18) 社会調査の基礎 (19) 教育・学校心理学 (20) 社会学概論 (21) 現代に生きる現象学 (23) 高齢期を支える (23)	リハビリテーション (19) 社会・集団・家族心理学 (20) アルリズムとプログラミング (20) メディア論 (22) 行政法 (22) より良い思考の技法 (23)
<b>7</b> 16:45 17:35	小学校外国語教育教授基礎論 (17) 太陽と太陽系の科学 (18) 日本政治外交史 (19) ユーザ調査法 (20) 心理臨床における法・倫理・制度 (21) 現代を生きるための化学 (22) 成人看護学 (24)	健康への力の探究 (19) 心理学研究法 (20) 刑法と生命 (21) アメリカ史：世界史の中で考える (24) 会計学 (24) 原典で読む日本の思想 (24)	「方丈記」と「徒然草」 (18) 英語で「道」を語る (21) 日本語リテラシー (21) 歴史のなかの人間 (22) 障害者の自立と制度 (24) データ構造の基礎 (24)
<b>8</b> 17:55 18:45	文学批評への招待 (18) 問題解決の進め方 (19) 文学・芸術・武進にみる日本文化 (19) 原初からへの思索 (22) 生涯学習支援の理論と実践 (22) ヨーロッパ政治史 (24) 情報社会と国際ボランティア活動 (24)	生物の進化と多様化の科学 (17) コンピュータとソフトウェア (18) 家族問題と家族支援 (20) エントロピーからはじめる熱力学 (20) 睡眠と健康 (21) サプライチェーン・マネジメント (21) 心理と教育へのいざない (24)	地球温暖化と社会イノベーション (18) 暮らしに役立つバイオサイエンス (21) 子どもの人権をどうまもるのか (21) 精神分析とユング心理学 (23) 公衆衛生 (24)

※ 赤字は2023年度閉講科目 (再試験科目) 再試験受験者のみが受験対象となります。

※ 青字は2024年度新規開講予定科目

■ 元夏季集中 (看護) 科目 ■ 看護師養成所で概ね必修科目 (多くの学校で必修となっている科目)

■ 試験のあるオンライン授業科目



※第2学期の試験時間割は変更される場合がありますので、必ず2024年度第2学期の「授業科目案内」で確認してください。  
 ※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

1月24日(金)	1月25日(土)	1月26日(日)
心理職の専門性 (20) 植物の科学 (21) 西洋音楽史 (21) 管理会計 (22) 健康と社会 (23) 解析入門 (24)	コミュニティがつなぐ安全・安心 (20) 疾病の回復を促進する薬 (21) 日常生活のデジタルメディア (22) 学校リスク論 (22) ソーシャルシティ (23) サービスサイエンス (23) レジリエンスの科学 (24)	舞台芸術の魅力 (17) 統計学 (19) 認知行動療法 (20) ダイナミックな地球 (21) 日本語アカデミックライティング (22) 初歩からの生物学 (24)
産業・組織心理学 (20) NPO・NGOの世界 (21) 環境と社会 (21) 数値の処理と数値解析 (22) 宮沢賢治と宇宙 (24)	社会と産業の倫理 (21) 情報学へのとびら (22) 教育のためのICT活用 (22) 博物館経営論 (23) 身近な統計 (24) 心理学概論 (24)	国際経営 (19) 宇宙の誕生と進化 (19) 認知症と生きる (21) 量子物理学 (21) 世界文学への招待 (22) 初歩からの物理 (22)
マーケティング (21) 感情・人格心理学 (21) 現代の内部監査 (22) 微分方程式 (23) 画像処理 (24) 「枕草子」の世界 (24)	発達心理学概論 (17) 場と時間空間の理論 (20) 日本の教職論 (22) 海からみた産業と日本 (22)	疾病の成立と回復促進 (21) 日本文学と和歌 (21) 自然科学をはじめの一步 (22) 古代中世の日本 (23) 住まいの環境論 (23)
教育社会学概論 (19) 経済社会を考える (19) 臨床心理学概論 (20) 「人新世」時代の文化人類学 (20) 著作権法 (22) 自然言語処理 (23)	問題解決の数理 (21) 心理カウンセリング序説 (21) 民法 (22) フィールドワークと民族誌 (24) 社会統計学入門 (24)	幼児理解の理論及び方法 (15) 肢体不自由児の教育 (20) 道徳教育論 (21) 中国語Ⅱ (23) 英米哲学の挑戦 (23)
線型代数学 (17) 災害看護学・国際看護学 (20) 情報技術が拓く人間理解 (20) 福祉心理学 (21) 経営学入門 (24)	思春期・青年期の心理臨床 (19) 金融と社会 (20) 食の安全 (21) 地理空間情報の基礎と活用 (22) 色を探究する (23) 情報と法 (23) 一般市民のための法学入門 (23)	教育課程の意義及び編成の方法 (15) 現代の家庭教育 (18) 知障障害教育総論 (20) 心理的アセスメント (20) 地域・在宅看護論 (23)
心理学統計法 (21) 雇用社会と法 (21) 情報デザイン (21) 看護管理と医療安全 (24) 記号論理学 (24) 地域生活を支える社会福祉と法 (24)	韓国語Ⅰ (20) 障害者・障害児心理学 (21) グローバル時代の英語 (22) 博物館概論 (23) 日本語教育学入門 (24) フランス語Ⅰ (24)	生物環境の科学 (16) 入門線型代数 (19) 錯覚の科学 (20) 学習・言語心理学 (21) データベース (23) リスクコミュニケーションの探究 (23) 多文化共生のコミュニケーション (24)
生命分子と細胞の科学 (19) 情報社会のユニバーサルデザイン (19) 入門微分積分 (22) イメージの力 (24) グリーンサポートと死生学 (24)	特別支援教育総論 (19) アメリカの芸術と文化 (19) 中国と東部ユーラシアの歴史 (20) 精神疾患とその治療 (20) 幼児教育の指導法 (22) 市民生活と裁判 (22) コンピュータ通信概論 (24)	博物館展示論 (16) 乳幼児・児童の心理臨床 (17) 財政と現代の経済社会 (19) エネルギーと社会 (19) リスク社会の家族変動 (20) AIシステムと人・社会との関係 (20) 健康長寿のためのスポーツロジー (24)
情報理論とデジタル表現 (19) 日本の近世 (20) 博物館教育論 (22) 教育の行政・政治・経営 (23) 感染症と生体防御 (24)	現代経済学 (19) 情報セキュリティ概論 (22) SDGs下のアジア産業論 (23) 今日のメンタルヘルス (23) 都市と地域の社会学 (24)	身近なネットワークサービス (20) 人体の構造と機能 (22) 人生100年時代の家族と法 (23) イノベーション・マネジメント (23) 新興アジアの政治と経済 (24)

# 2024年度学年暦

〔第1学期〕

月	4 月		5 月		6 月	
日 曜	事 項		曜	事 項	曜	事 項
1 月	月曜閉所日 第1学期放送授業開始 集中科目募集要項配布（～5/31）		水	第1学期同時双方向Web授業開始（～7月中旬） 集中科目履修生等科目登録（～5/31）	土	面接授業（松山）（堀）
2 火			木		日	↓（松山）（堀）
3 水			金	閉所日 祝日（憲法記念日）	月	月曜閉所日
4 木			土	閉所日 祝日（みどりの日）	火	
5 金	第1学期オンライン授業開始（～7月中旬）		日	閉所日 祝日（こどもの日）	水	
6 土			月	月曜閉所日	木	
7 日			火		金	
8 月	月曜閉所日		水	通信指導提出期間（Web～5/29）	土	面接授業（橋口）（安田）
9 火			木		日	↓（橋口）（安田）
10 水			金		月	月曜閉所日 2024年度第2学期出願受付開始（第1回～8/31） 2025年度大学院修士（博士）全科目募集要項配布（～8/26）
11 木			土	面接授業（鈴田）（川原）	火	
12 金			日	↓（鈴田）（川原）	水	
13 土	第1学期面接授業空席発表 第1学期面接授業開始（～7/28）		月	月曜閉所日	木	
14 日			火		金	
15 月	月曜閉所日		水	通信指導提出期間（郵送～5/29）	土	
16 火			木		日	
17 水			金		月	月曜閉所日
18 木	面接授業追加登録開始（～7/14）		土	面接授業（安池）（磯谷他）	火	
19 金			日	↓（安池）	水	Web単位認定試験操作体験会（予定）
20 土	面接授業（岡嶋）（徳田）		月	月曜閉所日	木	
21 日	↓（岡嶋）（徳田）		火		金	
22 月	月曜閉所日		水		土	面接授業（日高）
23 火			木		日	↓（日高）
24 水			金		月	月曜閉所日
25 木			土	面接授業（大串）（磯谷他）	火	
26 金			日	↓（大串）	水	
27 土	面接授業（中尾）（山崎）		月	月曜閉所日	木	
28 日	面接授業（中尾）（山崎）		火		金	
29 月	閉所日 祝日（昭和の日）		水		土	
30 火			木		日	
31 日			金			

2024年度第2期学生募集出願受付（第1回6/10～8/31）（第2回9/1～9/10）  
2025年度卒業研究履修の手引きの配布（6月上旬～） 第1学期試験通知発送（6月下旬）

月	7 月		8 月		9 月	
日 曜	事 項		曜	事 項	曜	事 項
1 月	月曜閉所日		木		日	2024年度第2学期出願受付開始(第2回～9/10)
2 火			金		月	月曜閉所日
3 水			土		火	
4 木			日		水	
5 金			月	月曜閉所日	木	
6 土	Web単位認定試験操作体験会(予定)		火		金	
7 日			水		土	
8 月	月曜閉所日		木	2025年度卒業研究履修申請(新規)受付(郵送・Web～8/15) 単位認定試験成績認定(WAKABA)	日	
9 火			金		月	月曜閉所日
10 水			土		火	2024年度第2学期出願受付終了(第2回)
11 木			日	閉所日 祝日(山の日)	水	
12 金			月	月曜閉所日	木	
13 土			火	閉所日	金	
14 日	放送授業終了 ☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)		水	閉所日 卒業認定	土	
15 月	月曜閉所日 祝日(海の日) ☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部) 夏期学習期間＝再放送等(～9/30)		木	閉所日 第2学期科目登録申請受付開始(面接 授業含む)(郵送～8/30、Web～8/31) 2025年度大学院修士(博士)全生出願 受付開始(郵送・Web～8/26) 集中科目履修生通信指導提出期限 単位認定試験成績通知発送	日	
16 火	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部) 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		金		月	月曜閉所日 祝日(敬老の日)
17 水	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部) 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		土		火	
18 木	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部) 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		日		水	
19 金	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)		月	月曜閉所日	木	
20 土	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部) 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】 集中科目履修生放送授業(～8/4)		火		金	
21 日	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)		水		土	
22 月	月曜閉所日 ☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)		木		日	閉所日 祝日(秋分の日)
23 火			金		月	月曜閉所日
24 水			土		火	
25 木			日		水	
26 金			月	月曜閉所日 2025年度大学院修士(博士)全生出願受付終了	木	
27 土			火		金	
28 日			水		土	
29 月	月曜閉所日		木		日	第1学期学位記授与式・第2学期入学者の集い
30 火			金		月	月曜閉所日
31 水	体育実技単位認定申請期限		土	2024年度第2学期出願受付終了(第1回) 第1学期オンライン授業閲覧期限		

【注意】2024年度の単位認定試験は試験の実施方法(Web/郵送)および出願形式(択一式/記述式/併用式)によって試験期間が異なります。(学生生活の葉68～69ページ学部・大学院)

《第2学期》

月	10 月		11 月		12 月	
日 曜	事 項		曜	事 項	曜	事 項
1 火	第2学期放送授業開始		金	第2学期同時双方向Web授業開始(1月中旬) 2024年度卒業研究報告書提出期限	日	面接授業(藤井)(大石)
2 水			土		月	月曜閉所日
3 木			日	閉所日 祝日(文化の日)	火	
4 金	第2学期オンライン授業開始(～1月中旬)		月	月曜閉所日	水	
5 土	2025年度大学院修士(博士) 全科生第1次選考(筆記)		火		木	
6 日			水		金	
7 月	月曜閉所日 集中科目履修生単位認定試験課題提出期限		木	通信指導提出期間(原則Web～11/28)	土	面接授業(田中)
8 火			金		日	↓(田中)
9 水			土	2025年度大学院修士全科生第2次選考(面接試問) 面接授業(豊田)(吉住)	月	月曜閉所日
10 木			日	↓(豊田)(吉住)	火	
11 金			月	月曜閉所日	水	
12 土	第2学期面接授業空席発表 第2学期面接授業(～1/28) 面接授業(中尾)		火		木	
13 日	2025年度大学院修士(博士)全科生 第1次選考(筆記)(予備日) ↓(中尾)		水	卒業研究再履修申請(報告書未提出者) 受付(郵送・Web～11/20)	金	
14 月	閉所日 祝日(スポーツの日)		木		土	面接授業(岩崎)
15 火			金		日	↓(岩崎)
16 水			土	2025年度大学院修士全科生第2次選考(面接試問) 面接授業(寺本)(村久保)	月	月曜閉所日
17 木	面接授業追加登録期間(～1/12)		日	2025年度大学院修士全科生第2次選考(面接試問) ↓(寺本)(村久保)	火	
18 金			月	月曜閉所日	水	
19 土	面接授業(船久保)		火		木	
20 日	↓(船久保)		水		金	
21 月	月曜閉所日		木		土	面接授業(田口)(皆本)
22 火			金		日	↓(田口)(皆本)
23 水			土	閉所日 祝日(勤労感謝の日)	月	月曜閉所日
24 木			日	2025年度大学院修士・博士全科生第2 次選考(面接試問)(予備日)	火	
25 金			月	月曜閉所日	水	Web単位認定試験操作体験会(予定)
26 土	面接授業(宮武)		火		木	
27 日	↓(宮武)		水		金	
28 月	月曜閉所日		木	集中科目履修生成績認定	土	閉所日 放送授業一時中断
29 火			金	集中科目履修生成績通知発送	日	閉所日(年末) 年末・年始学習期間(～1/4)
30 水			土	2025年度第1学期出願受付開始(第1回11月下旬～2/28) 面接授業(藤井)(大石)	月	月曜閉所日(年末)
31 木					火	閉所日(年末)

2025年度第1学期学生募集出願受付(第1回11月下旬～2/28)(第2回3/1～中旬) 第2学期試験通知発送(12月下旬)  
2024年度卒業研究面接審査(12月上旬～1月上旬)

月	1 月		2 月		3 月	
日 曜	事 項		曜	事 項	曜	事 項
1 水	閉所日 (年始)		土		土	2025年度第1学期出願受付開始 (第2回~3月中旬)
2 木	閉所日 (年始)		日		日	
3 金	閉所日 (年始)		月	月曜閉所日	月	月曜閉所日
4 土			火		火	
5 日	Web単位認定試験操作体験会 (予定) 放送授業再開		水		水	
6 月	月曜閉所日		木		木	
7 火			金	単位認定試験成績認定 (WAKABA)	金	
8 水			土		土	
9 木			日		日	
10 金			月	月曜閉所日	月	月曜閉所日
11 土	面接授業 (小林)		火	閉所日 祝日 (建国記念の日)	火	
12 日	↓ (小林)		水	卒業認定	水	
13 月	閉所日 祝日 (成人の日)		木	2025年度第1学期科目登録申請受付 (面接授業を含む) (郵送~2/27、Web~2/28)	木	
14 火			金	単位認定試験成績通知発送	金	
15 水			土		土	
16 木			日		日	
17 金			月	月曜閉所日	月	月曜閉所日
18 土			火		火	
19 日	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		水		水	
20 月	月曜閉所日 ☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部) 2学期放送授業終了		木		木	閉所日 祝日 (春分の日)
21 火	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部) 冬期学習期間=再放送等 (~3/31)		金		金	
22 水	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		土		土	
23 木	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部) 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		日	閉所日 祝日 (天皇誕生日)	日	
24 金	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部) 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		月	月曜閉所日	月	月曜閉所日
25 土	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部) 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		火		火	
26 日	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部) 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		水		水	
27 月	月曜閉所日 ☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部) 卒業研究成績認定 (予定)		木		木	
28 火	卒業研究成績認定 (予定)		金	2025年度第1学期出願受付終了 (第1回) 第2学期オンライン授業閲覧期限	金	
29 水					土	
30 木	卒業研究再履修申請 (不合格者) 受付 (~2/6)				日	第2学期学位記授与式・第1学期入学者の集い
31 金	体育実技単位認定申請期限				月	月曜閉所日

※ 面接授業の開設日は予定です 3月下旬 学位記授与式 (本部主催) 3月中旬 集中科目履修生修了証書発送

【注意】2024年度の単位認定試験は試験の実施方法 (Web/郵送) および出願形式 (択一式/記述式/併用式) によって試験期間が異なります。(学生生活の栞68~69ページ学部・大学院)

# 登録科目名等のメモ

## 1 学 期

学生の種類	学 生 番 号	学生証の有効期限	氏 名
		年 月 末まで	

### ●放送授業・オンライン授業・同時双方向Web授業

登録科目名・再試験科目名	単位認定試験の有無	単位認定試験日	時限／ 時 間
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :

### ●面接授業

登 録 科 目 名	受 講 日	時 間
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :

## 2 学 期

学生の種類	学 生 番 号	学生証の有効期限	氏 名
	- - - - -	年 月 末まで	

### ●放送授業・オンライン授業・同時双方向Web授業

登録科目名・再試験科目名	単位認定試験の有無	単位認定試験日	時限／ 時 間
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日( )	時限／ : ~ :

### ●面接授業

登 録 科 目 名	受 講 日	時 間
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :
	月 日( )	: ~ :

# 学習進度チェック表

- (注1) ① 学習は、15章からなる印刷教材での学習とそれに対応する15回の放送授業の視聴が1つのセットとなります。
- ② 各回の学習を終えたら、「印刷教材による学習」「放送授業の視聴による学習」のそれぞれの回の欄をチェックしたり日付を記入して、学習の進み具合を記録しましょう。
- ③ 通信指導の課題提出は、余裕を持って提出しましょう。
- (注2) オンライン授業は、科目毎に学習内容、通信指導の有無、単位認定試験の有無が異なっていますので、必ずシラバス及び開講後の案内を確認するとともに、オンライン授業システムで自分の学習状況を確認するようにしてください。

年度・学期	年度 第 学期																			
授業科目名																				
印刷教材による学習	1	2	3	4	5	6	7	8	<input type="checkbox"/> 通信指導の提出  (締切) 月 日 日必着です	9	10	11	12	13	<input type="checkbox"/> 通信指導結果の受け取り  (試験一週間前まで) 月 中旬頃	<input type="checkbox"/> 受験票の受け取り  (試験一週間前まで)	14	15	<input type="checkbox"/> 単位認定試験受験  ( ) 月 日 時 分	<input type="checkbox"/> 成績評価の受け取り  ( ) 月 中旬頃
	放送授業の視聴による学習	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12			13	14		
備考																				

※この「学習進度チェック表」は授業科目ごとにコピーしてご使用ください。





# 2024年度佐賀学習センター閉所日カレンダー

## (第1学期)

4 月							5 月							6 月								
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	5							1	2
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9		
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16		
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23		
29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30		

7 月							8 月							9 月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4							1
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
29	30	31					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30						

## (第2学期)

10 月							11 月							12 月							
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		1	2	3	4	5	6					1	2	3							1
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	
														30	31						

1 月							2 月							3 月								
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
			1	2	3	4	5						1	2							1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9		
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16		
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23		
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28			24	25	26	27	28	29	30		
													31									

閉所日

# 佐賀学習センター案内図

●JR佐賀駅から徒歩10分



●詳細図



## 交通のご案内

- JR佐賀駅から徒歩で10分  
JR佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に200メートルほど進み「駅前交番西」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。
- JR佐賀駅からバスで  
佐賀駅バスセンター4番乗り場から行先番号58番「中折・クレオパーク鍋島」又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行き(およそ30分間隔で運行、所要時間5分程度、大人運賃160円)に乗りし、「どん<sup>3</sup>の森前」バス停で下車してください。どん<sup>3</sup>(どんどんどん)の森の緑地帯にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。
- タクシー  
JR佐賀駅南口乗り場から約5分

—— 放送大学のシンボルマークについて ——



(製作 永井一正氏)

1. 知識を吸収し、集約し、人格形成され、外に向かって上昇していくことを表す。
2. 多数の人々が教育をうける機会を表す。
3. 白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成を表す。

放送大学イメージキャラクター  
名称は「まなびー」



(命名者 小寺光雄氏)

1. 放送大学で学び、未来への夢を広げる鳩。
2. 「あなた」の心に学びを届ける伝書鳩をイメージしています。

## 利用の手引

2024年4月発行

### 放送大学佐賀学習センター

〒840-0815 佐賀市天神3-2-11 (アバンセ4階)

TEL 0952-22-3308 FAX 0952-22-3398

E-mail [saga-sc@ouj.ac.jp](mailto:saga-sc@ouj.ac.jp)